

ロコ・ソラーレが PCCCで初代女王に輝く



10月31日～11月6日まで開催されたパン コンチネンタル カーリング選手権2022（Pan Continental Curling Championships 2022／以下：PCCC）。日本代表として出場したロコ・ソラーレは、決勝で韓国に延長戦（第11エンド）の末、8対6で競り勝ち見事優勝。初代女王に輝きました。スキップの藤澤五月は、

「予選では2敗してしまい課題も多く残りましたが、準決勝と決勝ではいい内容の試合をでき、結果的に優勝というかたちで終えることができました。気持ちの切り替えやアイスの読みなど、ここ数年で培ってきたことが大会で発揮できました」

と喜びのコメントを残しました。これにより、2023年春に行われる世界選手権の出場枠を獲得。また12月には日本に帰国し、軽井沢国際カーリング選手権大会（12月16日～18日、長野県・軽井沢風越公園軽井沢アイスパーク）に出場する予定です。引き続き、ご声援のほどよろしくお願いします。

上村愛子 初の絵本作品『ゆきゆきだいすき』が発売



フリースタイルスキー・モーグル元選手の上村愛子が作画を手がけた絵本『ゆきゆきだいすき』が小学館より出版されました。今回、夫で元アルペンスキー選手の皆川賢太郎さんが代表理事を務める一般財団法人冬季産業再生機構で絵本の出版を検討しており、上村が練習日誌に描いていたイラストを見た皆川さんが作画を打診し実現。上村は、

「白馬の山々の季節ごとの色合いなど、自分の中にある記憶を絵に落とせたらと思って描きました。子どもたちに雪に興味を持ってもらい、雪を触りに行ってほしいです」

と初の絵本作品挑戦の想いを話しました。本作品では、読み聞かせる大人たちにも理解を深めてもらおうと、雪が降る仕組みや温暖化と雪の関係などについて専門家監修の解説も掲載しています。

◆ゆきゆきだいすき・小学館HP：

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09725203>

谷川航・翔が 世界体操競技選手権でメダルを獲得



水鳥寿思率いる日本代表として、世界体操競技選手権（10月31日～11月6日、イギリス・リヴァプール）出場した谷川航・谷川翔。男子団体総合では、253・395点で2位となり銀メダルを獲得し、上位3チームに与えられる2024年パリオリンピックの出場枠を掴みました。加えて、男子個人総合では谷川航が、得意の跳馬で最高難度の大技「リ・セグアン2」を決め、15,000点とこの種目トップの高得点をマークするなど、6種目すべてで大きなミスがなく、合計85,231点で銅メダルを獲得しました。谷川航は、

「団体と個人総合の予選では、『リ・セグアン2』で手をつくタイミングにびびってしまい回避しましたが、やっと気持ちよく飛ぶことができました。耐えました！」と世界選手権のこの種目での初メダル獲得を喜びました。また、第76回全日本体操団体選手権（12月11日、福井県）に、萱和磨、谷川航、谷川翔が出場を予定しています。ご声援のほど、よろしくお願いします。

スケートボード 中山楓奈 世界最高峰プロツアーで準優勝&アジア人女性初となる「THRASHER MAGAZINE」表紙に！



スケートボード・ストリートの世界最高峰プロツアー、ストリートリーグ（SLS）最終戦が11月5日、ブラジルのリオデジャネイロで行われ、中山楓奈が20・8点で自己最高に並ぶ2位に入りました。中山は、

「ノーズブラントを決められて嬉しかったけど、1位を超えられず2位という結果になり悔しかった。もっと練習を頑張ります」と話しました。11月下旬に行われたマイナビ日本スケートボード選手権大会では、大技ノーズブラントスライドを成功させるなど着実にポイントを重ね、予選2位で決勝に進出。しかし、決勝ではポイントを重ねられず、悔しい7位に終わりました。また、本場米国の老舗専門誌「THRASHER MAGAZINE（スラッシャーマガジン）」の2023年1月号の表紙に選ばれました。昨年6月号の表紙に載った堀米雄斗さんに続く日本勢2人目、アジア人女性としては初の快挙となりました。アメリカのロサンゼルスにある有名なハードスポット「ハリウッド・ハイ」で撮影が行われ、中山の代名詞である大技「フロントサイドKグラインド」を決めた写真が表紙に選ばれています。

フェンシング 見延和靖 折れ剣再生で地元・越前市とGCFを実施



日本スポーツSDGs協会とフェンシング金メダリストの見延和靖が推進する『折れ剣再生プロジェクト』。今回、地元である福井県越前市と協定を締結し、ふるさとチョイス ガバメントクラウドファンディング（GCF）のプロジェクトになりました。

2022年11月18日には、越前市長・山田賢一氏も登壇し記者会見を実施。本プロジェクトでは、見延の故郷でもある越前市の伝統産業の協力を得て、折れ剣の再生品を特別返礼品として採用。寄付額20万円の返礼品は折れ剣再生越前打刃物「高村刃物製作所製」の包丁で限定10本（シリアルナンバー入り）のほか、折れ剣再生オリジナルタグプレート限定50枚や地元の特産品も返礼品として用意し、目標金額を300万円に設定しています。クラウドファンディングは2023年2月16日までの期間限定で、集められた寄付金は、折れ剣再生プロジェクトの次なる製品開発等に充てられます。見延が故郷と推進する「SDGsプロジェクト」。ご協力のほど、よろしくお願いします。

◆折れ剣再生プロジェクト×越前市 ふるさとチョイス ガバメントクラウドファンディングページ：<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2158>

MLGs広報大使 伊藤みきの更なる挑戦！ 環境に配慮したおいしいお米「いとうさんし米」の販売を開始



滋賀県のMLGs広報大使として、MLGs体操を考案し、持続可能社会に向けて発信を続けている伊藤みき。今回新たな挑戦として、伊藤三姉妹（あづさん、みき、さつきさん）でのプロジェクトをスタートしました。

地域貢献活動の一環として、高齢化等により離農された田を借り受け、環境に配慮した米作りを進めてきた「わたむきの里作業所」と日野町が連携し、環境に配慮した美味しいお米作りに挑戦しました。さらに、里山農業の活性化と障がい者の所得補償に繋げようとする『いとうさんし米プロジェクト』を実施してきました。秋の収穫期を迎え、みずかがみ・コシヒカリ・にこまるの3品種が「いとうさんし米」として、11月より日野町のふるさと納税の返礼品として出品されています。ふるさとチョイス、ふるなび、楽天のサイトで寄付することが可能です。

◆伊藤三姉妹・田植えプロジェクトHP：<https://ito3action.bitfan.id/contents/73885>